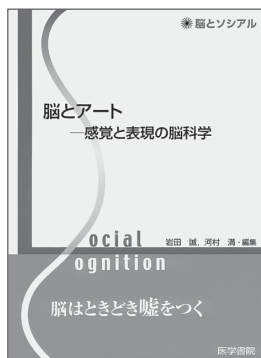


今月の3冊プラス1



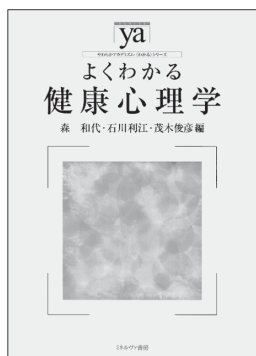
＜脳とソシアル＞

脳とアート 感覚と表現の脳科学

編：岩田誠，河村満 発行：医学書院 TEL：03-3817-5657

定価 3780 円(本体 3600 円＋税 5%)

本書はサブタイトルにもあるように、脳が感覚で何を感じ、何をどのように表現するか
に焦点をあてる。脳が芸術をどのように感じるか、脳にとって芸術とは何かというところ
から始まって、芸術を感じる脳、芸術として表現する脳の科学的考察が展開される。
帯にある「脳はときどき嘘をつく」というのがどういう意味か気になる方はぜひ一読
を。気にならない方も、脳の不思議を学んでみませんか。脳と社会との関わりについて
考察する〈脳とソシアル〉シリーズの最新刊。



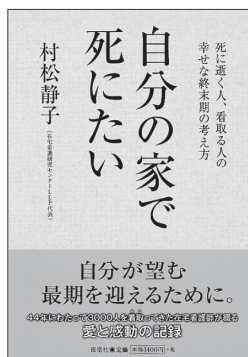
やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ

よくわかる健康心理学

編：森和代，石川利江，茂木俊彦 発行：ミネルヴァ書房 TEL：075-581-5191

定価 2520 円(本体 2400 円＋税 5%)

健康心理学とは聞きなれない名称だが、心を研究対象とする心理学と、身体を研究対象
とする医学との接点に位置する学をめざす。健康とは「身体的にも、精神的にも、社会
的にも完全に良好な状態を意味するもの」と WHO の定義にもあるように、健康にとっ
て、心理的側面は大事な要素。その中の重要なトピックを見開き 2 頁(一部 4 頁)でわか
りやすく解説した本書は、健康心理学の基礎理論から応用までを理解するのに適した入
門書である。



自分の家で死にたい

死に逝く人、看取る人の幸せな終末期の考え方

著：村松静子 発行：海竜社 TEL：03-3542-9671

定価 1470 円(本体 1400 円＋税 5%)

44 年にわたり 3000 人の最期を看取ってきた在宅看護師である著者が、これまでに看取
った人々の記録とそこから得た思いを中心に、納得いく最期を迎えるために元気なうち
に考えておくべきこと、を述べている。「延命のための延命であってはならない」「在宅
死を成し遂げるために欠かせない“本人の覚悟”」「家族 1 人ひとりに求められる“1 つ
の決心”」など。附録に示された、「元気に生き抜き、『自分の家で死にたい』人のため
の 8 つの心の葉」も一読しておきたい。



瞬間の記憶力

競技かるたクイーンのメンタル術

著：楠木早紀 発行：PHP 研究所(PHP 新書) TEL：03-3239-6233

定価 798 円(本体 760 円＋税 5%)

漫画『ちはやふる』などで少しずつ知名度をあげている「競技かるた」。凄まじいスビ
ードで札を払う姿を、皆さんも見たことがあるかもしれない。本書では、女流最高峰
であるクイーン位 9 連覇中の著者により、競技者の心理や大会の舞台裏、また百人一首
の雑学などが描かれる。この季節、「静と動」の織りなす競技かるたの世界を垣間見て
はいかがだろうか。